



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月1日

上場会社名 山崎製パン株式会社
コード番号 2212 URL <http://www.yamazakipan.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 吉田 輝久

TEL 03-3864-3110

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	473,631	△0.7	11,840	△24.7	12,656	△20.9	5,358	△31.3
24年12月期第2四半期	477,005	3.5	15,720	1.1	15,991	1.1	7,800	107.8

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 9,420百万円 (3.6%) 24年12月期第2四半期 9,091百万円 (158.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	24.41	—
24年12月期第2四半期	35.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	645,447	268,612	38.3
24年12月期	655,708	263,116	36.9

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 247,068百万円 24年12月期 241,737百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	—	—	16.00	16.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	954,000	0.3	25,000	1.0	26,500	1.5	14,000	29.7	63.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期2Q	220,282,860 株	24年12月期	220,282,860 株
25年12月期2Q	780,101 株	24年12月期	759,301 株
25年12月期2Q	219,515,083 株	24年12月期2Q	219,550,959 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3~4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、第2四半期決算短信補足説明資料の6ページにセグメント別の売上高及び営業利益の予想を記載しております。

当社は、平成25年8月6日(火)に機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 販売実績	12
4. 「参考資料」	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年6月30日）におけるわが国経済は、公共投資の増加や輸出の持ち直しによって鉱工業生産が緩やかに増加するなど景気は持ち直しの動きが見られましたものの、雇用・所得環境の厳しさが続く中で個人消費は一部の高額商品を除き横ばい状態で推移しました。

当業界におきましては、デフレが継続する市場環境の下で、お客様の根強い節約志向によって製品の低価格化が続き、販売競争が激化する厳しい経営環境となりました。

このような情勢下にあります、当社グループは製品の品質向上と新製品開発に積極的に取り組み、「春のパンまつり」を活用して主力製品の取扱拡大をはかるとともに、ヤマザキの技術を活用して低価格帯製品を強化するなど、市場動向に即応した部門別製品戦略、営業戦略を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は4,736億31百万円（対前年同期比99.3%）、営業利益は118億40百万円（対前年同期比75.3%）、経常利益は126億56百万円（対前年同期比79.1%）、四半期純利益は53億58百万円（対前年同期比68.7%）で、売上が伸び悩む中で物流費や販売促進費用が増加し、減益となりました。

セグメント別の状況

<食品事業>

食品事業の主要製品別の売上状況は、次のとおりであります。

①食パン部門（売上高481億49百万円、対前年同期比97.2%）

食パンは、低価格化が進み販売競争が激しさを増す中で、主力の「芳醇」や「超芳醇」、「ロイヤルブレッド」を販売強化するなど売上の底上げをはかってまいりました。販売数量は前年同期を確保することができましたものの、単価下落によって売上減となりました。

②菓子パン部門（売上高1,679億55百万円、対前年同期比101.3%）

菓子パンは、新製品を計画的に投入した「ランチパック」が大きく伸長するとともに、ミニパンの薄皮シリーズが好調に推移し、ペストリーの新製品「サクリスタン」が売上増に寄与しました。

③和菓子部門（売上高314億46百万円、対前年同期比97.5%）

和菓子は、「具たっぷり」シリーズの伸長や低価格帯製品の強化もあり、中華まんの売上が伸長しましたが、競争激化によって主力製品が低迷し、売上は前年同期を下回りました。

④洋菓子部門（売上高588億82百万円、対前年同期比103.6%）

洋菓子は、2個入り生ケーキや「ふわふわスフレ」などチルドケーキが好調に推移するとともに、「大きなツインシュー」などシュークリームが伸長しました。また、㈱不二家の洋菓子事業は、新製品投入や積極的な販売施策が功を奏し売上が伸長しました。

⑤調理パン・米飯類部門（売上高572億28百万円、対前年同期比99.8%）

調理パン・米飯類は、調理パンの和紙バーガーの不振や弁当類の伸び悩みもあり、前年同期の売上に及びませんでした。

⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高759億40百万円、対前年同期比97.2%）

製菓・米菓・その他商品類部門は、同業他社やPB商品との競争が激化し売上が伸び悩む中、㈱不二家の「カントリーマアム」やヤマザキ・ナビスコ(株)の「チップスター」が堅調に推移しましたが、仕入商品の売上が減少し、前年同期の売上を下回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は4,396億2百万円（対前年同期比100.0%）、営業利益は118億88百万円（対前年同期比76.8%）となりました。

<流通事業>

当社は、(株)デイリーヤマザキの平成25年7月1日付吸収合併に先立ち、事業推進の体制づくりを進めるとともに、商品、運営、開発等の各部門においてデイリーヤマザキ事業の強化に取り組んでまいりました。また、ヤマザキグループの総力を挙げた品揃えと魅力ある売場を構築した「ニューヤマザキデイリーストア」の実験店2店を6月に開店するとともに、「ベストセクション」をはじめとする自社業態向けの製品開発に取り組みました。

(株)デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、競合激化による既存店の不振に加え、不採算店の閉鎖による直営店の減少もあり、営業総収入は297億22百万円（対前年同期比89.6%）、営業損失は10億95百万円（前年同期は8億37百万円の営業損失）となりました。

<その他事業>

その他事業につきましては、売上高は43億5百万円（対前年同期比106.9%）、営業利益は6億81百万円（対前年同期比108.7%）となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は6,454億47百万円で、前連結会計年度末に対して102億60百万円減少しました。流動資産は2,138億68百万円で、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に対して125億10百万円減少しました。固定資産は4,315億78百万円で、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に対して22億49百万円増加しました。負債合計は3,768億34百万円で、前連結会計年度末に対して支払手形及び買掛金の減少等により157億56百万円減少しました。純資産は2,686億12百万円で、前連結会計年度末に対してその他有価証券評価差額金の増加等により、54億95百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は38.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益116億51百万円に加え、減価償却費189億92百万円、売上債権の減少額130億9百万円などにより342億66百万円のプラスとなりましたが、前年同期に対しては28億32百万円収入が減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得などにより186億56百万円のマイナスとなり、前年同期に対しては21億73百万円支出が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済、配当金の支払などにより139億22百万円のマイナスとなり、前年同期に対しては新規借入金の減少などにより28億93百万円収入が減少しました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は910億72百万円となり、前連結会計年度末残高に対しては18億66百万円の増加となりました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、海外経済の持ち直しや円安を背景に緩やかな景気回復に向かうことが期待されますが、個人消費の回復には時間を要するものと思われます。

当業界におきましては、デフレが長期化する食品市場においてお客様の節約志向が続き、販売競争が激しさを増すことが予想されます。4月に輸入小麦の政府売渡価格が引き上げられたことを受けて7月から業務用小麦粉が値上げされたことに加え、円安に伴う原材料価格の上昇や電気料金・燃料等エネルギーコストの増加もあり、厳しい経営環境となることが予測されます。

このような情勢下にあります。当社は、7月1日出荷分より一部製品を値上げするとともに規格改定を実施しました。これにより主力製品の品質向上を実施して製品力の強化をはかり、品質訴求による拡販につとめてまいります。

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、当社は、去る7月1日をもって子会社の(株)デイリーヤマザキを吸収合併し、デイリーヤマザキ事業統括本部を設置して業務運営体制を一新し、デイリーヤマザキ事業の再建に向けて出発いたしました。今後、当社グループは総力を挙げ、「デイリーヤマザキ」店の充実強化をはかるとともに、「ニューヤマザキデイリーストア」の店舗開発に積極果敢に取り組み、製品開発を推進してお客様に喜ばれる真に価値ある商品の提供とサービスの充実につとめ、デイリーヤマザキ事業の充実強化、再生復活をはかってまいります。

今後、当社に吸収合併されたデイリーヤマザキ事業の充実強化・再生復活の取り組みは、当社営業部門の業務改善・充実強化の取り組みと一体のものであると考え、営業部門を中心とした生産部門・営業部門一体となった部門別・業態別の製品戦略、営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」の中に取り込み、市場動向に即応した新製品の開発と魅力ある売場の構築をめざし、当社グループ一丸となって業績向上につとめてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、当第2四半期連結累計期間の厳しい業績を勘案し、平成25年2月14日公表の平成25年12月期通期の連結業績予想を次のとおり修正いたします。

平成25年12月期通期の連結業績予想の修正（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	957,000	27,500	28,800	14,500	66.05
今回修正予想 (B)	954,000	25,000	26,500	14,000	63.78
増減額 (B-A)	△ 3,000	△ 2,500	△ 2,300	△ 500	—
増減率 (%)	△ 0.3	△ 9.1	△ 8.0	△ 3.4	—
(ご参考)前期連結実績 (平成24年12月期)	951,502	24,754	26,109	10,790	49.15

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	92,784	94,019
受取手形及び売掛金	95,986	83,899
商品及び製品	10,154	10,566
仕掛品	805	722
原材料及び貯蔵品	8,910	8,017
繰延税金資産	3,580	3,008
その他	14,750	14,061
貸倒引当金	△593	△426
流動資産合計	226,379	213,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	330,707	334,576
減価償却累計額	△243,102	△246,619
建物及び構築物(純額)	87,604	87,956
機械装置及び運搬具	426,855	430,717
減価償却累計額	△356,063	△361,256
機械装置及び運搬具(純額)	70,792	69,461
工具、器具及び備品	26,051	26,146
減価償却累計額	△22,925	△22,931
工具、器具及び備品(純額)	3,126	3,214
土地	112,587	112,794
リース資産	30,780	32,807
減価償却累計額	△14,927	△17,648
リース資産(純額)	15,852	15,159
建設仮勘定	3,750	4,178
有形固定資産合計	293,714	292,765
無形固定資産		
のれん	17,165	16,521
その他	14,117	14,358
無形固定資産合計	31,283	30,880
投資その他の資産		
投資有価証券	44,219	50,605
長期貸付金	580	611
繰延税金資産	25,112	23,904
その他	37,232	35,358
貸倒引当金	△2,814	△2,546
投資その他の資産合計	104,331	107,933
固定資産合計	429,328	431,578
資産合計	655,708	645,447

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,051	67,498
短期借入金	59,759	58,310
リース債務	5,550	5,501
1年内償還予定の社債	1,234	1,234
未払法人税等	5,848	7,243
未払費用	34,145	32,422
賞与引当金	3,388	3,579
販売促進引当金	833	673
店舗閉鎖損失引当金	15	12
資産除去債務	13	16
その他	35,160	33,550
流動負債合計	220,999	210,043
固定負債		
社債	3,699	3,082
長期借入金	53,327	48,214
リース債務	11,130	10,310
退職給付引当金	85,999	87,584
役員退職慰労引当金	3,359	3,282
資産除去債務	3,915	4,189
その他	10,161	10,128
固定負債合計	171,591	166,791
負債合計	392,591	376,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,676	9,676
利益剰余金	212,758	214,601
自己株式	△762	△788
株主資本合計	232,686	234,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,398	12,547
繰延ヘッジ損益	3	5
土地再評価差額金	45	45
為替換算調整勘定	△396	△33
その他の包括利益累計額合計	9,051	12,564
少数株主持分	21,379	21,543
純資産合計	263,116	268,612
負債純資産合計	655,708	645,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	477,005	473,631
売上原価	301,531	299,510
売上総利益	175,473	174,121
販売費及び一般管理費	159,753	162,280
営業利益	15,720	11,840
営業外収益		
受取利息	34	24
受取配当金	416	474
固定資産賃貸料	291	296
為替差益	2	348
持分法による投資利益	165	190
雑収入	517	567
営業外収益合計	1,426	1,902
営業外費用		
支払利息	920	863
雑損失	235	222
営業外費用合計	1,155	1,086
経常利益	15,991	12,656
特別利益		
固定資産売却益	4	34
債務保証損失引当金戻入額	1,006	—
その他	177	0
特別利益合計	1,188	35
特別損失		
固定資産除売却損	731	780
店舗閉鎖損失	144	131
その他	521	127
特別損失合計	1,398	1,040
税金等調整前四半期純利益	15,781	11,651
法人税等	7,631	6,030
少数株主損益調整前四半期純利益	8,150	5,620
少数株主利益	349	261
四半期純利益	7,800	5,358

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,150	5,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	731	3,232
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	150	557
持分法適用会社に対する持分相当額	58	8
その他の包括利益合計	941	3,799
四半期包括利益	9,091	9,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,667	8,872
少数株主に係る四半期包括利益	424	548

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,781	11,651
減価償却費	19,459	18,992
震災関連費用	200	—
のれん償却額	603	637
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△842	△434
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△411	191
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,613	1,585
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△767	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△76
受取利息及び受取配当金	△450	△498
支払利息	920	863
持分法による投資損益 (△は益)	△165	△190
固定資産除売却損益 (△は益)	727	746
投資有価証券評価損益 (△は益)	247	5
売上債権の増減額 (△は増加)	11,369	13,009
たな卸資産の増減額 (△は増加)	224	829
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,867	△7,699
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△132	△72
その他	1,199	868
小計	45,709	40,409
利息及び配当金の受取額	455	499
利息の支払額	△934	△886
法人税等の支払額	△7,931	△5,756
その他	△200	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,098	34,266
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△783	631
有形固定資産の取得による支出	△18,005	△17,409
有形固定資産の売却による収入	40	139
無形固定資産の取得による支出	△1,104	△1,759
投資有価証券の取得による支出	△789	△1,503
貸付けによる支出	△81	△56
貸付金の回収による収入	70	49
その他	△177	1,251
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,830	△18,656

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△47	△1,616
長期借入れによる収入	6,900	4,754
長期借入金の返済による支出	△11,307	△9,700
社債の償還による支出	△617	△617
リース債務の返済による支出	△2,576	△2,945
自己株式の取得による支出	△25	△25
自己株式の売却による収入	1	—
配当金の支払額	△3,287	△3,507
少数株主への配当金の支払額	△69	△264
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,029	△13,922
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	180
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,265	1,866
現金及び現金同等物の期首残高	70,943	89,205
連結子会社と非連結子会社との合併による現金及び現金同等物の増加額	272	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	76,481	91,072

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	439,798	33,178	4,028	477,005	—	477,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,080	3,206	13,725	20,013	△20,013	—
計	442,878	36,385	17,753	497,018	△20,013	477,005
セグメント利益又は損失(△)	15,484	△ 837	626	15,273	447	15,720

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額447百万円は、セグメント間取引の消去であります。
2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	439,602	29,722	4,305	473,631	—	473,631
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,815	3,219	14,569	20,604	△20,604	—
計	442,417	32,942	18,875	494,235	△20,604	473,631
セグメント利益又は損失(△)	11,888	△ 1,095	681	11,474	366	11,840

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額366百万円は、セグメント間取引の消去であります。
2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7)販売実績

(単位：百万円)

セグメントの 名称	区 分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	前年同期比
食品事業	食 パ ン	49,518	48,149	97.2%
	菓 子 パ ン	165,720	167,955	101.3
	和 菓 子	32,252	31,446	97.5
	洋 菓 子	56,835	58,882	103.6
	調理パン・米飯類	57,317	57,228	99.8
	製菓・米菓・その他商品類	78,152	75,940	97.2
	食 品 事 業 計	439,798	439,602	100.0
流 通 事 業	33,178	29,722	89.6	
そ の 他 事 業	4,028	4,305	106.9	
合 計	477,005	473,631	99.3	

4. 「参考資料」

(1) 平成25年12月期第2四半期の個別業績 (平成25年1月1日～平成25年6月30日)

①個別経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	315,961	△1.1	8,537	△23.9	10,716	△15.7	6,200	△17.2
24年12月期第2四半期	319,551	2.9	11,215	△2.7	12,705	△2.1	7,492	25.6

②個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
25年12月期第2四半期	453,140	235,737
24年12月期	459,299	230,099

(注) 個別業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 平成25年12月期第2四半期 個別販売実績

(単位：百万円)

期別 品種別	前第2四半期 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)		当第2四半期 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
	食パン	49,063	15.3%	47,621	15.1%	△1,442
菓子パン	156,281	48.9	157,343	49.8	1,062	100.7
和菓子	32,139	10.1	31,374	9.9	△765	97.6
洋菓子	41,212	12.9	42,039	13.3	827	102.0
調理パン・米飯類	19,686	6.2	18,245	5.8	△1,440	92.7
製菓・米菓・その他商品類	21,168	6.6	19,336	6.1	△1,832	91.3
合計	319,551	100.0	315,961	100.0	△3,590	98.9

(3) 平成25年12月期第2四半期 主要子会社実績

(単位：百万円)

	売上高				営業利益			
	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
(株)不二家(連結)	43,151	44,847	1,696	3.9%	368	242	△125	△34.2%
(株)サンデリカ	42,656	42,404	△252	△0.6	1,056	450	△606	△57.4
ヤマザキ・ナビスコ(株)	17,713	17,403	△310	△1.8	1,139	1,168	29	2.6
(株)ヴィ・ド・フランス	16,117	16,570	453	2.8	381	368	△12	△3.4
(株)東ハト	12,692	12,572	△120	△1.0	865	870	4	0.6
(株)デイリーヤマザキ	36,385	32,942	△3,443	△9.5	△837	△1,095	△257	—